

まちづくりの理念

まちづくりの理念とは、これからのまちづくりを進めるための統一テーマとして設定したものです。

『自然と調和のとれた住空間、躍動する産業、観光客をあたたく迎え入れるホスピタリティ(※)、個性あふれる文化、豊かな人間性。』

市民一人ひとりの価値観とライフスタイルが尊重され、豊かさや充実した生が実現できるまち。

ここには世界の各地から人が集い、世界の情報が集まる。

そして、人が、物が、情報が行き交い、活発な交流が生みだすエネルギーがまちにみなぎり、人々のぬくもりとふれあいを育てる。』を基本理念にキヤッチフレーズ『人が輝き

まちがときめく ふれあい交流都市のほりべつ』を設定しました。

※ホスピタリティ：訪れた人を優しく迎え入れ、もてなすこと。

まちづくりの視点

まちづくりの視点とは、登別市の歴史を振り返り、現状を把握し、夢を語り合い、将来のあるべき姿を模索する中から形成された、今後のまちづくりを進めていく上での共通の心構えです。

昭和43年に定められた『登別市民憲章』とともに、これからのまちづくりを進める際の指針の1つとして位置づけています。

① 交流と連帯のまちづくり

『さまざまな交流』や『世界との連帯』、『北海道の発展』をキーワードに、国際観光レクリエーション都市を目指す登別市として、国内だけではなく世界のさまざまな国との結びつきを求め、世界との連帯の中でのまちづくりを目指しています。

② 調和と共生のまちづくり

『自然との調和、真の豊かさ』や『ノーマライゼーション(※)』、『男女共同参画社会』をキーワードに、美しい自然と調和した真に豊かな安らぎのある生活、心の通い合う温かい地域社会の構築とすべての人が健やかにいきいきと暮らせる地域社会づくりや、安心して子どもを生み、健やかに育てることが出来る地域社会づくりを目指すとともに、女性の力が発揮できる地域社会づくりを重視しています。

※ノーマライゼーション：高齢者も障

がい者もすべての人々が、ともに暮らし、ともに生きぬく社会こそ正常(ノーマル)であるという考え方。

③ 創造と挑戦のまちづくり

『人づくり』や『文化づくり』、『歴史づくり』も『新たな潮流への挑戦(情報化、技術革新)』をキーワードに、まちは人のためにあり、人がまちをつくりあげるといった人づくりや

次代に伝える文化、歴史の創造を目指すとともに、情報化や技術革新といったことにも積極的にチャレンジすることを重視しています。

④ 共感と協働のまちづくり

『市民行動』や『対話』、『市民との共感、協働』をキーワードに、市民一人ひとりの思いや希望が実現されるまちづくりを目指しています。

まちの将来像を示した5つのテーマ

5つのテーマは、遠い将来、わたしたちのまちがどのようなようになっているか、理想とするまちの姿をイメージし、基本構想において実現しようとするのほりべつの将来像です。

総合計画では、この5つのテーマを第1章から第5章とし、『担いあうまちづくりを』加えた全6章を基本構想(目指す姿)としています。

① やさしさと共生するまち(抜粋)

市民一人ひとりのライフスタイルや価値観が尊重され、常に健康で生きがいのある生活を営める環境づくりが進むとともに、すべての市民が住み慣れた地域の中で世代や性別などを超えて交流し、共に支え合うふれあい豊かな地域社会が実現しています。

② 自然とともに暮らすまち(抜粋)

自然と調和した美しい環境の中で、災害や事故のない安全な暮らしが確保されています。

③ 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち(抜粋)

将来ののほりべつでは、厚みと広がりを持った観光が名実ともに市の活力を支える基幹産業として成長を遂げ、商工業や農水産業など市内の他の産業と有機的に結びつき表情豊かで力強い産業活動が展開されています。

④ 調和の中でふるさとを演出するまち(抜粋)

土地利用構想に従って、自然や景観と調和した人間性あふれる都市施設の整備が進み、機能的で利便性の高い市民生活が営まれています。

また、あらゆる都市施設は、高齢者やハンディキャップを持った人々にやさしいノーマライゼーション都市にふさわしい整備が進められるとともに、生態系に配慮した川づくり、ふれあい豊かな住宅地など都市基盤の整備が進んでいます。

⑤ 豊かな個性と人間性を育むまち(抜粋)

新しい時代を担う子どもたちの無限の可能性を伸ばす環境が整うとともに、生涯にわたって市民がいきいきと学び続けることのできる生涯学習社会が実現しています。

⑥ 担いあうまちづくり(抜粋)

自らのまちは、自らつくりあげるという意識を基本として、市民一人ひとりがお互いの価値観とライフスタイルを尊重しながら積極的に対話を重ね、共感と協調の心を基礎として自ら行動するまちづくり活動に取り組める環境づくりを推進します。